

70日間の1学期を通しての『成長の実感』

7月20日、無事に1学期を終えることができました。

これも、ひとえに保護者の皆様、地域の方々のご理解・ご協力があったからこそです。改めて感謝申し上げます。夏休みから2学期以降も宜しく願いいたします。

さて、1学期、70日間は学校だよりの中でも触れましたが、『気を揉んだ学期』と表現するのがぴったりくると言えます。6月下旬からの雷雨・豪雨による下校時間引き延ばしや、大雨警報発令のための引き渡し等、毎日、天気予報を気にする日々が続きました。それが落ち着いたと思う間もなく、熱中症対策の日々。正しく全世界における気候変動・異常気象の一端であると実感します。

こうした状況下であっても、生徒たちは1学期間、様々な場面で、一途な姿、仲間と共に高めようと励む姿、全員が楽しむ姿など、これまでの自分（集団）を高めようとする姿がありました。

令和5年度のキーワード『成長の実感』につながる姿が様々な場面で見られた1学期であったと言えます。

その結果はこちらの予想以上の数値でした。1学期末のアンケートの中に、

『1学期中、自分自身の成長を実感することができましたか。』という質問を位置付けました。

結果が以下の通りです。

できた 47.8% まあまあできた 44.7% 合計 92.5%

自分自身と言っても、新しい仲間、新しい環境の中で成長が実感できたと回答する割合は、やや抑え目に目標設定をしていました。それを大きく上回る結果で、とても嬉しく思いました。ただ7.5%の「あまりできなかった」「できなかった」と回答した生徒に目を向けることは重点としていきます。2学期末、その成果が結果に表れることを期待して。



全校が椅子に座っての会では、全校生徒の整った姿勢、視線の集中が際立ちます。